



2004年3月28日(日)「関東シルクロード」を行いました。トランス・アメリカを完走した海宝道義さんと一緒に走ろうと、1996年秋に八王子から町田まで走ったのが始まりでした。その後、年2回、桜の頃と紅葉の頃にいろいろと場所を変えて走り続け、15回目となりました。今回のコースは、東飯能駅から国道299号線を走り、秩父の手前、横瀬の“武甲の湯”までの約33km。参加者は12名で、内女性が2名、初めての方が11名です。

呼びかけ人の町田は、マウンテンバイクでのサポートを予定していたのですが、諸事情のため、“車の伴走はありません。荷物は各自背負って走って下さい。”の案内を自ら乱して、車でのサポートとなりました。マウンテンバイクに比べ、抜群の機動力があるものの、走りながらの会話に参加できない寂しさがあるのです。さらに、海宝さん得意の寄り道(道草なのかコース・ミスなのか?)突然の山道侵入などであると……。

9時過ぎにスタートした、海宝様御一行は、大きく離れることなく、16時50分には全員“武甲の湯”で汗を流し、旅の疲れを癒していました。



## 平均年齢は53.25歳

今回は、最近の「関東シルクロード」に参加した方と、“海宝ロードランニング”の大会・練習会に参加した方の中から58名に「関東シルクロード」の案内を出しました。その結果16名の方が参加を申し込まれました。

ところが、高瀬章さんが家族スキーと重なったため不参加。土屋晋さんが父親の100歳の誕生祝いと重なったため不参加。吉田則明さんがスキーで骨折したため不参加。村雲耕石さんが当日現れなくて不参加。

結局、本橋裕一さん、黒沢佳文さん、舘山誠さん、稲田裕道さん、滝口博義さん、池畑信義さん、遠藤陽子さん、佐藤一郎さん、庄司一郎さん、西永宣昭さん、加来義信さん、河内洋子さんの12名の参加となりました。滝口さん以外は初参加で、平均年齢は53.25歳です。

## これは旅なのです

変わりやすい春の天候ですが、暖かい晴天。東飯能駅の南口に参加者が集まってきます。地元の舘山さんは途中から合流するとのこと。マウンテンバイクでサポートする予定だった町田ですが、しばらく放置していたため、その整備に手間取り、急遽車でのサポートに変更しました。集合時間の9時を少し回ったところで、ご挨拶。「関東シルクロード」の主旨を説明します。「大会でも練習会でもありません。参加された方が海宝さん中心に会話を楽しみながら、最終目的地に無事到着していただく走る旅のようなものです。途中は、細かく休憩を入れて、必ず最後尾の方を待ちます。調子が悪くなった場合は西武線を利用して先回りしてもかまいません。もちろん、車の助手席も空いています。邪魔な荷物は車に放り込んで下さい。基本的には歩道を走っていただきますが、歩道のない場所もあります。車には十分気をつけて下さい。念のため保険には入っていますが、あまり当てにならないように」



## 海宝さ～ん、どこ行くの？

9時5分、出発です。駅の構内を通り、北口へ移動して、国道299号線に乗って走りますが、先頭を走る海宝さんが会話に夢中になってしまったのか、下見をしたコースを外れて行きます。“わかっていて外れているのかな？”町田は集団を追い越し、先で地図を確認すると、現在走っている道は国道299号線からどんどん離れ、名栗湖に向かっていているのです。車で走る集団まで引き返し、海宝さんに“道を間違えています。戻って下さい”このやりとりを不安げに見つめる参加者たち

…。天覧山の登り口にあるコンビニで道を尋ねると、そのまま直進して突き当たりが国道299号線ということ。教えられた通りに走り、左折して無事国道に乗ることができました。歩道のない狭い道でしたが、西武線をくぐると道幅が広がり歩道も現れました。



## 舘山さんと合流

約1キロ先の“滝不動尊”の駐車場には1人のランナーがいました。「舘山さんですか？」「はい」ということで無事合流できます。「高麗駅でトイレ休憩をします」と指示して車で高麗駅入口交差点で集団を待つことにしました。“まだかなあ”とその時、ここを曲がって駅に向かうと思っていた駅の方からランナーたちが走って来ました。「駅でトイレ休憩をすませてきました」地元住民でこの地域で大会運営もしている舘山さんのこと、ひとつ前の交差点から駅に向かい、ここに出て来たのでしょうか。そこからほんの少し行ったところに“高麗石器時代住居跡”があり休憩がてら見学します。







## なんでここから...?

次のエードステーションは“武蔵横手駅”。車で駅まで向かったのですが、車は駅周辺に駐車できる場所がなく、通過するしかありません。かなり先まで行って、Uターンして再び駅を通過、右側に細い道を見つけて、このあたりで待っていようと思っていると、その先からランナーたちが走って来ました。駅手前1キロほどの場所から左側に旧道があり、そこを走って来たようです。10時20分、武蔵横手駅で休憩。

西武線の駅をエードステーションに利用する予定でしたが、舘山さんのよると、ここから先の東吾野・吾野・西吾野は国道から少々離れているのでむしろコンビニを利用するほうがよいとのこと。さらに、昼食は正丸駅手前のそば屋がお勧め。まず、1.5キロほど先の“サックス”に向かいます。



## またまた思わぬところから！

10時30分、サックスに到着。海宝さんが持ってきたミックスナッツや焼き梅干しなどでちょっと栄養補給です。再び走り始めて、東吾野駅を左側上方に越えて、1キロほどの右側に“木楽里”なる看板を発見、休憩がてら店内を見学します。木を利用した椅子や小物の展示販売およびそれらを作る教室を開いている場所でした。

左手を流れる高麗川に沿って国道も曲がりくねり、西武線をガードでくぐった場所で水分補給をします。時刻は11時30分なのですが、みなさん、朝食を食べた時間が早かったの



しょう、空腹感が...。このペースだと正丸駅付近での昼食は13時頃になりそうです。それならばと、町田は約6キロ先のコンビニでサンドイッチを人数分購入して、集団を待つのに適当な場所を探しながら戻ります。この辺でと右折したところ、目の前にランナーたちが現れました。どうやらまたまた旧道を走って来たようです。国道に出る手前でランナーを止めて、サンドイッチ休憩にしました。







## 池ちゃんがない！

次の休憩場所をトイレのある“ あじさい会館 ”にしようと考えていたのですが、トイレの必要はなく、町田がサンドイッチを買った“ エーエム・ピーエム ”ということに。12時25分にエーエム・ピーエムで休憩します。ここで海宝さんからアイスクリームが振る舞われました。ここから、正丸駅手前の“ 奥武蔵 ”というそば屋までは、約5キロです。途中、休憩することもなく13時に“ 奥武蔵 ”到着。ところが、「ひとり足りない！」「誰？」「池ちゃんだ」町田は、車で池畑さんを捜しに戻ります。1キロほど戻って池畑さんが歩いているのを発見！Uターンして、助手席に乗ってもらいました。車の追突事故の治療が終わったばかりで、その後遺症らしき傷みが走ったのです。

## どの道ビール

そば屋でそれぞれ食べたいものを注文し、男性陣はなぜか当たり前のように生ビールで乾杯します。ここから先、正丸峠をトンネルで通過するか、旧道の正丸峠を越えるか、山道の旧正丸峠を越えるかという選択があり、館山さんの薦めで山道の旧正丸峠越えに決定したのです。峠までは当然歩く、となれば多少飲んでも大丈夫ということでしょうか(?)いや、多分、どの道を選択してもビールは飲んでいただろうなあ…。ゆっくりと食事をして(というより食事が出てくるのがゆっくりだった)14時過ぎに旧正丸峠を目指して出発しました。池畑さんと町田は、車で正丸トンネルを抜けて左側の旧道に入り、旧正丸峠の標識に従い車で侵入できるところまで行き、集団を待ちます。



## 水は？！

待ちきれなくなった池畑さんは、歩いて奥へ入って行きました。そして、15時15分、ようやく(私たちにとってのことですが)ランナーたちが確認できました。楽しそうに山道を走って来て、そのまま走り去ります。池畑さんと車でランナーを追い越し、国道に戻り、適当な場所で水分補給休憩の準備をします。館山さん先頭に勢いづいたランナーたちはそこを通過して、「芦ヶ久保の道の駅で」...“ そうなの? のど渴いてないの? ”...「ちょっと待って! 」と、海宝さんが止めました。結局、ここで水分補給と海宝さんの持ってきたおやつ休憩をします。



次の休憩は、芦ヶ久保駅の下にできた“ 道の駅 ”と決めて出発しました。車も一気に道の駅へ向かい、駐車場に入れてランナーを待ちます。先ほどの休憩から20分、15時50分にみんな到着しました。ここで、トイレとほんの少しの自由時間(?)。敷地は広く、車と人にあふれているのですが、まだ新しいためか、内容的にはあまり心惹かれるものはありませんでした。16時過ぎ、最終目的地“ 武甲の湯 ”目指して走り出します。

## ひとり足りない!!

車は、武甲の湯への曲がり角付近で待機して、ランナーにコース指示をすることにしました。16時30分頃から次々と来るランナーが、間違いなく右折したことを確認し、武甲の湯に向かいます。そして、温泉入口で記念撮影を終えて...「ひとり足りない!」「滝口さんだ!」町田は、車で滝口さんを探しに戻りました。先ほどの曲がり角付近を走る滝口さんを確認して、武甲の湯で滝口さんの到着を待ちます。16時45分、滝口さんがゴールして、無事終了。

温泉で汗を流し、疲れを癒し、ビールで喉を潤します。

19時過ぎ、横瀬駅で集合写真を撮りなおして、それぞれの帰路に就きました。

お疲れ様でした。秋にまたお会いしましょう。





海宝 道義	228-0003	神奈川県座間市ひばりが丘 2-29-10 046-255-4689
町田 行弘	229-1103	神奈川県相模原市橋本 5-29-12-201 042-773-7415
本橋 裕一	337-0052	埼玉県さいたま市見沼区堀崎町 309 048-688-4076
黒沢 佳文	338-0001	埼玉県さいたま市中央区 上落合 3-3-2 東風寮 048-859-3341
館山 誠	350-0455	埼玉県入間郡毛呂山町阿諏訪 1221 049-294-5603
稲田 裕道	330-0803	埼玉県さいたま市大宮区 高鼻町 1-3-2-603 090-294-5603
滝口 博義	247-0026	神奈川県横浜市栄区犬山町 73-17 045-891-8050
池畑 信義	192-0151	東京都八王子市上川町 2327-4 0426-54-5677
遠藤 陽子	270-0155	千葉県流山市宮園 2-3-9 04-7159-0258
佐藤 一郎	350-0853	埼玉県川越市城下町 33-7 049-224-6370
庄司 一郎	112-0012	東京都文京区大塚 6-15-1 03-3941-6558
西永 宣昭	207-0032	東京都東大和市蔵敷 2-597-14 042-563-1700
加来 義信	228-0801	神奈川県相模原市鶴野森 1-28-14-102 042-747-1636
河内 洋子	350-0445	埼玉県入間郡毛呂山町新しき村 049-295-0991

